

## 平成 22 年度 日本水産学会中部支部大会

### ミニシンポジウム「カツオ丸ごと早分かり」

平成 22 年度日本水産学会中部支部大会を、遠洋水産研究所・静岡県水産技術研究所・東海大学の協力のもと、下記のとおり開催しますので、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 日時 平成 22 年 11 月 26 日（金） 14：30～17：00

2. 会場 静岡県水産技術研究所 大会議室  
〒425-0033 静岡県焼津市小川 3690 電話番号：054-627-1815（代）

3. 大会参加費 無料

#### 4. ミニシンポジウム「カツオ丸ごと早分かり」

##### （1）企画の趣旨

我が国では古くから沿岸・近海に來遊するカツオを多様な形で利用しており、特にカツオ節はダシや削り節ばかりでなく様々な加工食品の天然調味料として用いられており、日本の食文化や日本人の食生活に欠かせない。一方で、世界的な水産物需要の増大によりカツオを主原料とする缶詰生産がタイを中心に急増している。このため、近年、カツオ漁業には主漁場である中西部太平洋の熱帯海域を中心に多様な国や地域が大規模に参入し、中西部太平洋全体のカツオ漁獲量は継続的に増大している。このような情勢下、我が国のカツオ漁業は燃油等の経費増大や需給や流通市場を巡る国際的競争の激化等、多くの問題にさらされている。また、中西部太平洋の全体的な資源評価結果と日本近海での漁模様とが必ずしも一致していない状況も指摘されている。本ミニシンポジウムでは、カツオの生物・資源・漁業から加工利用にわたり広く最新的话题を提供してカツオを丸ごと手早く理解できるよう現状を整理し、今後のカツオ資源の持続的利用について考える糸口とすることを目的としている。

##### （2）企画者

小倉未基（水研セ遠洋水研）・安井 港（静岡水技研）・鈴木伸洋（東海大海洋）

##### （3）プログラム

- |               |                        |       |
|---------------|------------------------|-------|
| 1. シンポジウム趣旨説明 | 鈴木伸洋（東海大）              | [5分]  |
| 2. カツオの生物生態   | 清藤秀理（水研セ遠洋水研）          | [30分] |
| 3. カツオの資源     | 魚崎浩司（水研セ遠洋水研）          | [30分] |
| 4. カツオの漁業     | 増田 傑（静岡水技研）            | [30分] |
| 5. カツオの加工利用   | 平塚聖一（静岡水技研）            | [20分] |
| 6. 古代鰹節の再現    | 高橋俊之（焼津鰹節水産加工業協同組合）    | [10分] |
| 7. 総合討論       | （進行：静岡水技研・東海大・水研セ遠洋水研） | [25分] |

\* [ ] 内は、講演時間（質疑応答 5 分を含む）を示しています。